

陸上競技(短距離)プログラム報告 2011 年 8 月 27 日(土) 中村泰雄

日付: 2011 年 8 月 27 日 (土曜日)

分類: [手記](#)



八月最後のプログラムを四日後にして、二十三日午後、真夏の暑さが戻って来ました。それ以来連日暑い越谷が続いています。今日もさぞや……と思ったのですが、昨日見た天気予報では午後3時の25℃が最高気温とか。それもその筈、一日中雨の予想でした。そんなら少しくらい暑くても晴れの方が良い。

そして今朝四時半、寝室の窓から懐中電灯で屋外を照らして見ると、水溜りに波紋が出来る程ではありませんが、ごく細かい雨が見えました。気温は21℃。走る時には普通のウエアで気になりませんが、外出に雨具なしでは少々不安と云ったところでしょうか。但し熱中症の心配は薄らぎました。

所でお馴染みの配布プリントですが、十日程前に原稿を犬槐で作りました。この原稿を作った時にはジョギングコースの東の入り口付近で白い花を枝いっぱい咲かせていたのです。

其処でこの枝の下を集団で走る近所の高校の陸上部の映像をタイトルバックにして、『犬・・』と呼ばれる植物の多くが役に立たないと云う意味でこう呼ばれていますが、犬槐は床柱に使われる他、鏡台、針箱などの和家具、三味線、太鼓の胴のような和楽器、寄木細工、木象嵌、彫刻、将棋の駒等々、広い用途を持っている事等を書きました。

そして二十一日早朝、プリントを印刷する前に最終確認。現場に出かけて思わず『あっ!』花がない。花は一輪残らず散ってしまった後でした。今から別のテーマで原稿を作り直す自信は有りません。如何しよう。

家に帰ってプリントの記事を読み直しました。そして花については一言も触れていない事に気が付きました。シメタ!!

デジカメ持って現場にとって返し、花がらだらけの枝の下を歩くウオーカーを撮って来て、タイトルバックを張り替えました。前の出来と比べると一段落ちますが、現状に反する絵よりはましかと……御免。

例によって、私は、準備運動が始まるのを合図に現場に向かいました。

現場で待つこと十分弱、アスリートの姿が見えてきました。先頭はK君。十メートル後れて大坂PC。K君が私に気付かず通過します。後ろから大坂PCが呼び止めました。二人を呼び寄せて私の第一声。

「犬槐はこの辺に植えてあるんだけど、どれか分かるかな？」

追付いて来た集団も一緒に探します。やがて大坂PCが自信無げに目の前の一本を指差します。

「残念、それは辛夷。犬槐はもう一本先のやつだ」

と私。集団を犬槐の樹に導きます。

「証拠は樹の幹。良く見ると分かるよ」

全員の視線が目の中の幹に集中します。でも何も分かりません。私はやおら樹の裏側に回り込んで、幹を指差しながらこう言います。

「ホラ其処に証拠が有る」

私を追って樹の裏側に回り込んで来た阿久沢PCが微笑しました。其処には白地に黒で『イヌエンジュ』と書いたプレートがぶら下がっていたのです。

この冗談の後、この樹が和家具や和楽器の材として有用であることなどを手短かに説明して、ウォーキングを再スタートしてもらいました。

ウォーキングの後は何時ものように全員参加の二千。その後種目別に分かれて短距離グループは本番のメンバーとオーダーでバトンパスの練習をしました。

この練習では最初に立ち止まったままでバトンの受け渡しの練習をして、これがほぼ完璧になった段階で歩きながらのパス練習に切り替えました。今日はレギュラーの四人が揃っての練習でしたが、この段階までは4人とも文句なしのバトンパスをしていました。

其処で欲張って走りながらのバトンパス、本番そのままのバトンパスに挑戦したのですが、一人だけ、スタートのタイミングが掴めず、スタートが遅れる子が居ました。

この問題を解決しようと色々試みましたが、残念ながら課題を残したままで十一時半を迎えました。今日のプログラムは此処までです。短距離グループは阿久沢PCのリードでストレッチをした後、“Let’s Go SONS”を叫んで今日のプログラムを無事に終了しました。

中 村 泰 雄

注:一部人名をイニシャルに変換して掲載しております。